3-300-181-**02**(1)

SONY

クレードル　取扱説明書

BCR-NWU5

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告　安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に一度は、ACコードのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 変な音、においがしたら
- 煙が出たら
- 液漏れしたら

➡

1. **ACコードを使用中の場合は、コンセントから抜く。**
2. **パソコンと接続している場合は、USBケーブルを抜く。**
3. **お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意　この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号	行為を禁止する記号	行為を指示する記号
火災　感電	禁止　接触禁止　分解禁止　ぬれ手禁止	プラグをコンセントから抜く　指示

⚠警告　火災　感電　下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない。

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、ACパワーアダプターとUSBケーブルを本体から抜き、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

海外で使用しない。

指示

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。

接触禁止

感電の原因となります。

付属のACパワーアダプター以外を使わない。

禁止

破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

内部をむやみに開けない。

分解禁止

本体および付属の機器は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。

ぬれた手でACコードをさわらない。

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない。

禁止

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となります。

端子を金属でショートさせない。

禁止

火災や感電の原因となります。

⚠注意　下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない。

禁止

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

指定以外の機器に使わない。

禁止

火災やけがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、ACコードをはずす。

プラグをコンセントから抜く

長期間使用しないときはACコードをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く。

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する。

禁止

コード類は足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。
また、コードをACパワーアダプターに巻き付けないでください。断線や故障の原因になります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではクレードルの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ ウォークマン カスタマーサポートへ**
  （http://www.sony.co.jp/walkman-support/）
  最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ ソニーの相談窓口へ（下記電話・FAX番号）**
  お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。
  － 型名：BCR-NWU5
  － ご相談内容：できるだけ詳しく
  － お買い上げ年月日

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル ･････････････0120-333-020	フリーダイヤル ･････････････0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話 ･････････････0466-31-2511	携帯電話･PHS･一部のIP電話 ･････････････0466-31-2531
	※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「301」＋「♯」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389
受付時間 月～金：9:00～20:00　土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

使用上のご注意

置いてはいけない場所

使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。
- 安定していない場所
  製品が落ちてけがや故障の原因となります。

使用について

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- TVやAMラジオやチューナーの近くで使わないでください。
  TVやラジオ、チューナーに雑音が入ることがあります。
- 使用後は必ず、ACコードをコンセントから抜いておいてください。
- ACパワーアダプター本体やコード類の接点部に他の金属類が触れないようにしてください。ショートすることがあります。
- ACパワーアダプターを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。

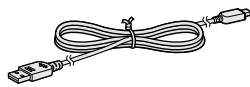
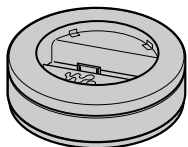
お手入れについて

- 汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れを拭き取り、乾いた布で仕上げてください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

準備する

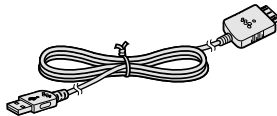
付属品を確かめる

本機の付属品は、以下のとおりです。

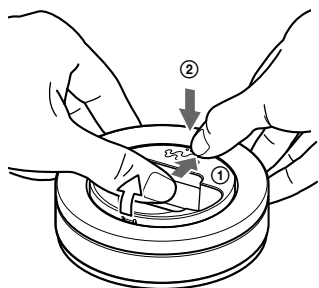
- クレードル（1）
- 充電用DCコード（1）

- ACパワーアダプター（1）
- ACコード（1）

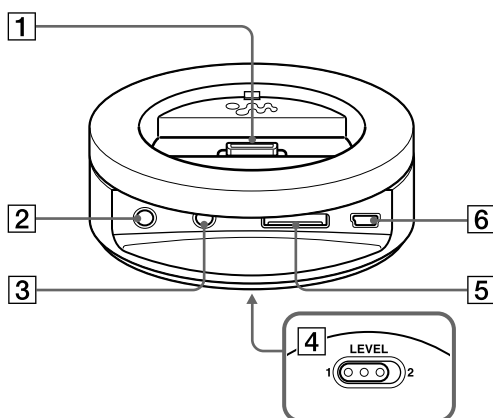
その他の必要なものを確かめる

付属品に加えて、本機を使うために必要なものは、以下のとおりです。

- ウォークマン
  本機に対応する機種について詳しくは、ウォークマン カスタマーサポートのホームページ
  （http://www.sony.co.jp/walkman-support/）をご覧ください。
- ウォークマン用アタッチメント*
- USBケーブル *

* パソコンとの接続に使用します。ウォークマンに付属しています。

アタッチメントをセットする

本機を使用するときは、お使いのウォークマンに付属のアタッチメントをセットしてください。アタッチメントを取り付けるには、ロゴマーク側にある2ヵ所のツメをクレードルの穴の位置に合わせて先にはめ込んでからロゴマークの反対側を指で押し込みます。
アタッチメントを取りはずすには、イラストのようにアタッチメントの凹み部分をクレードル背面側に強く押しながら①、マーク（○○○）の位置を上から強く押します②。

お使いのウォークマンによって、アタッチメントの形状が異なる場合があります。

各部の名前

1 WM-PORT*コネクター（ウォークマン接続用）
ウォークマンを接続します。

2 AUDIO OUT端子
別売りのオーディオケーブルを使って、アクティブスピーカーなどの音声出力機器を接続します。

3 AUDIO IN端子
別売りのオーディオケーブルを使って、CDプレーヤーなどの音楽再生機器を接続します。

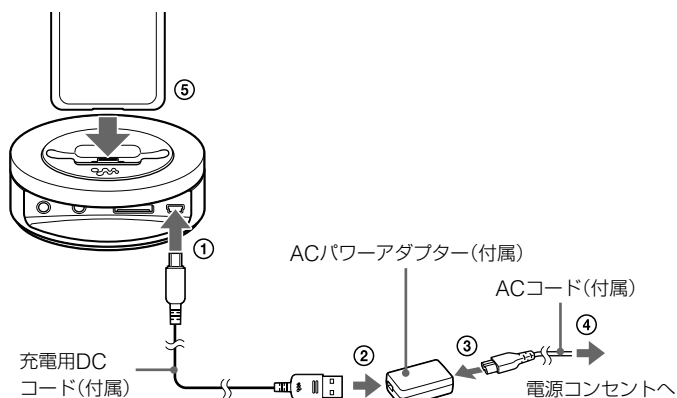
4 LEVELスイッチ
録音時の音のレベルを切り換えます。
- LEVEL［1］（そのままの音量で録音）：ポータブルプレーヤーなどのラインアウト端子やヘッドホンジャックから録音する場合
- LEVEL［2］（音量を下げて録音）：システムコンポなど、音声出力レベルが高い機器のラインアウト端子から録音する場合（LEVEL［1］で録音すると、音が割れてしまうことがあります）

5 WM-PORTジャック（パソコン接続用）
USBケーブル（ウォークマンに付属）を使ってパソコンを接続します。

ご注意
パソコン以外の機器をWM-PORTに接続する場合は、接続する機器の取扱説明書をお読みください。

6 DC IN端子
充電用DCコードを使ってACパワーアダプター（付属）を接続します。

* WM-PORTは、ウォークマンとアクセサリーを接続する専用マルチ端子です。

充電する

1 充電用DCコード（付属）の小さい側の端子を、クレードルのDC IN端子に接続する（①）。

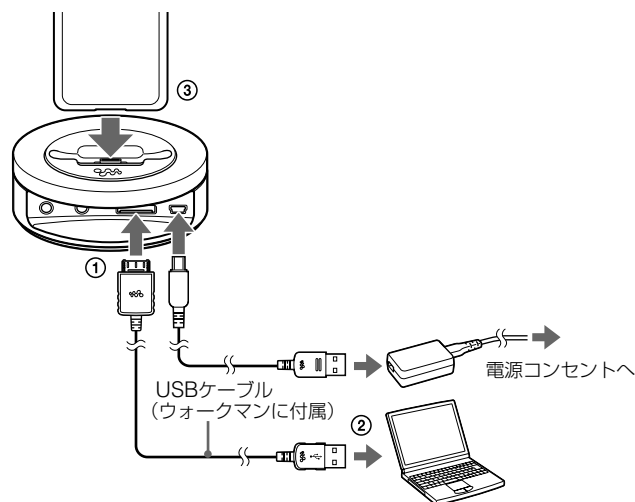
2 充電用DCコードの大きい側の端子を、ACパワーアダプター（付属）に接続する（②）。

3 ACコード（付属）をACパワーアダプターに接続する（③）。

4 ACコードを電源コンセントへ差し込む（④）。

5 ウォークマンをクレードル上面のWM-PORTコネクターにセットする（⑤）。
充電が始まります。充電時間は、お使いのウォークマンによって異なります。詳しくは、ウォークマンの操作ガイドをご覧ください。

ご注意
- ウォークマンをクレードルの奥までしっかりと挿し込んでください。
- 充電しながらウォークマンのヘッドホンで音楽を聞くときは、AUDIO OUT端子に何も接続しないでください。
  接続するとヘッドホンジャックから音声が出力されません。

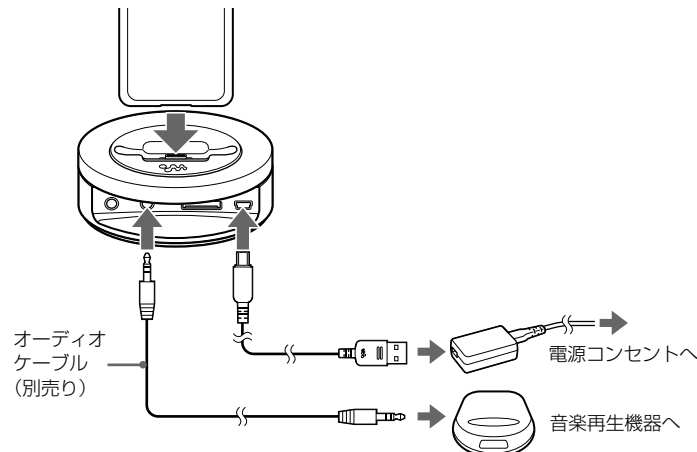
パソコンと接続する

1 USBケーブル（ウォークマンに付属）のWM-PORTを、クレードル背面のWM-PORTに接続する（①）。

2 USBケーブルのもう一方の端子を、パソコンに接続する（②）。

3 ウォークマンをセットする（③）。

ご注意
- ウォークマンをクレードルの奥までしっかりと挿し込んでください。
- 本機を電源コンセントに接続している場合は、電源コンセントから充電されます。
- 本機を電源コンセントに接続しなくてもUSB接続しているパソコンから充電されます。電源コンセントに接続していないノートパソコンと接続した場合は、ノートパソコンのバッテリーが消耗しますのでご注意ください。
- 充電用DCコードでクレードルとパソコンを接続しても、パソコン上でウォークマンが認識されません。
- パソコンからデータ転送中にウォークマンがクレードルから外れた場合は、ウォークマンをもう一度クレードルに取り付け、転送をやり直してください。
- パソコンからデータ転送中は、USBケーブル、充電用DCコードならびにACコードの抜き差しをしないでください。転送が中断してしまいます。その場合は、いったんウォークマンをクレードルからはずし、再びセットしてから転送をやり直してください。

ウォークマンに録音する

本機のAUDIO IN端子に別売りのオーディオケーブルを使ってCDプレーヤーなどの音楽再生機器を接続し、本機にセットしたウォークマン*に録音することができます。
* WM-PORTと録音機能が搭載されているウォークマンに限ります。

1 オーディオケーブル（別売り）を本機のAUDIO IN端子と音楽再生機器に接続する。

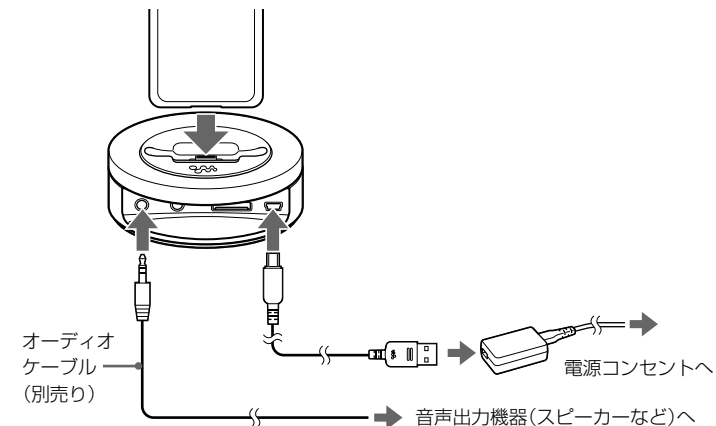
2 ウォークマンをセットする。

録音の手順は、お使いのウォークマンによって異なります。詳しくは、ウォークマンの操作ガイドをご覧ください。

ヒント
録音時の音声レベルを本機のLEVELスイッチで切り換えることができます。詳しくは「各部の名前」の「LEVELスイッチ」をご覧ください。

ご注意
録音中の音声は、本機のAUDIO OUT端子にオーディオケーブルが接続されている場合は、スピーカーなどの音声出力機器から出力されます。
AUDIO OUT端子に何も接続されていない場合は、ウォークマンのヘッドホンジャックから出力されます。

スピーカーなどと接続する

別売りのオーディオケーブルを使ってアクティブスピーカーなどの音声出力機器に接続できます。接続や設定をする前に、必ず接続する機器の電源を切ってください。

1 オーディオケーブル（別売り）を本機のAUDIO OUT端子と音声出力機器に接続する。

2 ウォークマンをセットする。

3 ウォークマンで再生を始める。

ご注意
- オーディオケーブルは、ウォークマンを再生／録音する前に接続してください。あとから接続すると、AUDIO OUT端子から音声が出力されないことがあります。この場合は、いったんウォークマンをクレードルからはずし、再びセットしてから再生を始めてください。
- クレードルをパソコンと接続しているときに、クレードルのAUDIO OUT端子から音声が出力されないことがあります。その場合は、パソコンと接続しているUSBケーブルを外してください。
- パソコンの音声は、クレードルのAUDIO OUT端子から出力されません。
- 音声出力機器と接続しているときは、ウォークマンのヘッドホンジャックから音声は出力されません。
- ウォークマン内の楽曲の音声レベルが大きいと、本機にセットしたウォークマンからスピーカーなどに出力される音声は、「Equalizer」などの音質効果が小さくなります。
- FMチューナー搭載のウォークマンを使用している場合、FM放送が受信できなかったり、感度が大幅に低下することがあります。

主な仕様

入出力端子	WM-PORTコネクター（22ピン）（ウォークマン接続用） WM-PORTジャック（22ピン）（パソコン接続用） AUDIO OUT（ステレオミニ、10kΩ） AUDIO IN（ステレオミニ）、DC IN 5V
スイッチ	LEVEL 1/2
ACパワーアダプター	DC 5V

商標

"ウォークマン"、"WALKMAN"、"WALKMAN"ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。